

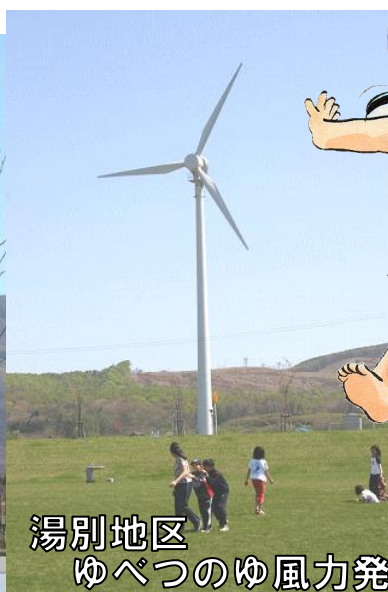
# 2018年 統計資料「すっつ」

～北海道寿都町～

寿都町マスコットキャラクター  
【風太】



浜中地区  
寿の都風力発電所



湯別地区  
ゆべつのゆ風力発電所



歌棄地区  
風太風力発電所

## 目次

寿都町紹介	3
1 自然	
1-1 地勢	4
1-2 気象	5
2 人口	
2-1 総人口数	6
2-2 男女別人口	7
2-3 年齢別男女人口（国勢調査推移）	8
2-4 地区別人口・世帯数、世帯の種類	11
3 産業経済	
3-1 漁業	12
3-1-1 魚種別漁獲量	13
3-2 商業	15
3-3 工業	16
3-4 事業所数	17
3-5 農業	18
4 観光	
4-1 観光客入込み状況	19
5 生活	
5-1 教育…学校、社会教育施設	20
5-2 医療・福祉	21
5-3 火災・救急	22
6 財政	
6-1 平成30年度一般会計歳入歳出予算	23
6-2 平成30年度各特別会計予算	24
7 歴史	27
8 平成30年度寿都町機構図	30
9 官公庁一覧	31

## 《寿都町紹介》

寿都町は、北海道南西部の日本海に面し、函館、札幌のほぼ中間に位置し、本町西部から東部に走る弓状の海岸線が寿都湾を形成しています。

全国でも有数の強風が吹く町で平成元年（1989年）に全国の自治体では初の試みとなる風力発電を建設。現在までに11基の風車が稼動しており、強風はクリーンエネルギーに姿を変え、町づくりに還元されています。



### 「寿都町章」

昭和30年（1955年）の町村合併（旧樽岸村・歌棄村・磯谷村と寿都町）後、合併10周年を記念して昭和40年に制定されたものなんだ。

4稜星は「す」を図案化したもので「十字形」によって合併4か町村の固い結束を示して、この「十字」は、平和と正義のしるしで、その先端を尖らせたのは、将来への強い発展を示しているんだ。

外側の円は「つ」を図案化し、寿都湾の地形と円満融和を表現しているよ。

町の木…桜



町の鳥…かもめ



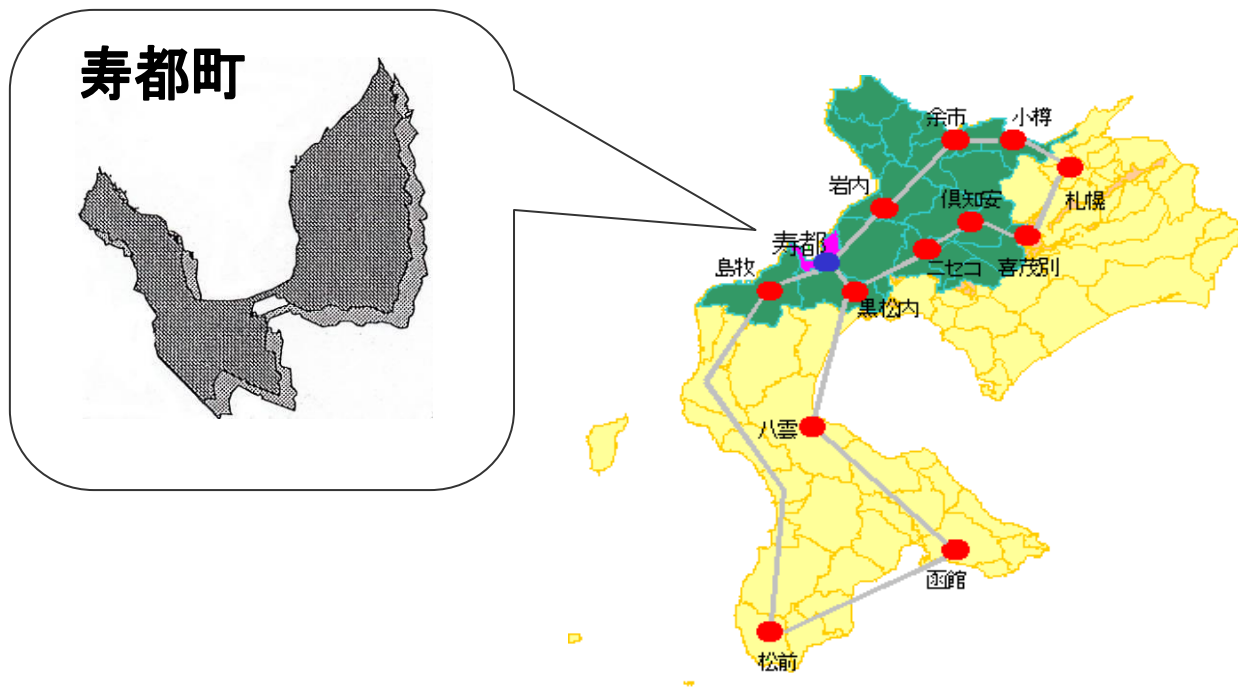
町の花…ハマナス



# 1 自然

## 1-1 地勢

寿都湾を取り囲むように弓状に形成されたそのほとんどが山林・原野であり、町境界線上に連なる山とともに山地が海岸に迫っている地形となっています。



### ■位置

方位		広域	
北緯	東経	東西	南北
140° 13'	42° 47' 30"	14.0km	23.5km

### ■地区別面積(単位:km<sup>2</sup>)

寿都地区	樽岸地区	湯別地区	歌棄地区	磯谷地区	計	人口密度
14.05	11.72	13.48	22.04	34.08	95.37	32.0人

### ■地目別土地利用面積【平成29年10月1日現在 固定資産概要調査 単位:ha】

総面積	田	畑	宅地	山林	池沼	牧場	原野	雑種地	その他
9,524	32.4	382.4	119.1	1,063	3.2	311.5	2,062.0	239.2	5,311.2

## 1-2 気象

寿都町は、日本海に面していることから暖流（対馬海流）の影響を受けることにより、年間平均気温8.8℃（平成29年平均）と温和で、年間降水量は1,245.5mmとなっています。

### ■気象概況

年次	気温(℃)			降水量 (mm)	最深 積雪量 (cm)	風速(m/s)			最大風速10m/s 以上の日(累計)	
	平均	最高	最低			平均	最大	瞬間最大	10～14.9	15～29.9
平成14年	8.7	28.6	-9.8	1290.5	62	3.1	13.1	29.1	5	-
15年	8.6	27.7	-11.3	954.0	54	3.5	14.2	29.6	18	-
16年	9.5	31.2	-10.0	1242.5	71	3.4	20.3	35.0	18	1
17年	8.6	29.2	-10.2	1496.0	88	3.5	13.8	29.2	23	-
18年	8.6	31.2	-12.7	1177.5	99	3.5	13.5	28.1	17	-
19年	9.2	31.8	-6.6	1184.0	28	3.2	18.4	34.4	10	1
20年	9.0	28.7	-9.4	939.5	75	3.6	16.0	25.6	36	3
21年	8.9	28.5	-10.3	1326.0	53	4.4	18.7	30.9	80	4
22年	9.2	33.5	-12.9	1674.5	103	4.0	18.3	29.8	62	8
23年	8.8	30.8	-10.1	1431.5	85	4.0	19.2	30.8	58	2
24年	8.8	30.4	-10.9	1364.5	81	4.3	16.0	30.3	72	5
25年	8.8	33.5	-13.4	1382.5	103	3.7	16.1	30.0	410	24
26年	9.0	31.3	-9.1	1057.5	71	4.2	13.6	22.9	62	2
27年	9.5	33.1	-9.4	1533.0	90	4.2	18.6	29.5	94	6
平成28年1月	-2.7	-1.0	-4.6	132.5	64	4.2	11.7	19.6	4	-
2月	-1.8	0.6	-4.4	95.5	61	4.6	13.3	24.5	9	-
3月	2.3	5.3	-1.3	44.0	44	4.2	19.1	32.1	4	1
4月	6.9	10.8	3.3	60.0	2	4.7	14.6	22.9	13	-
5月	13.4	18.0	9.5	54.0	-	4.9	17.3	28.3	12	2
6月	14.9	18.5	12.2	134.5	-	5.0	12.5	22.0	12	-
7月	19.1	22.6	16.6	114.5	-	5.0	11.3	19.1	4	-
8月	22.8	26.5	19.7	90.0	-	3.8	16.6	32.7	4	1
9月	18.9	22.6	15.7	88.0	-	3.6	9.8	16.4	-	-
10月	10.6	13.9	7.2	101.5	-	4.3	12.8	23.7	10	-
11月	2.6	5.2	-0.2	120.0	17	4.5	12.6	22.0	7	-
12月	0.3	2.7	-2.2	137.0	36	4.5	12.6	20.9	9	-
28年平均等	8.9	26.5	-4.6	1171.5	64.0	4.4	19.1	32.7	88	4
平成29年1月	-2.1	-1.0	-4.5	88.0	44	4.2	12.4	22.4	6	-
2月	-1.3	1.0	-4.2	52.0	36	4.6	12.9	21.1	8	-
3月	1.7	4.3	-1.0	32.0	22	3.9	10.4	16.1	1	-
4月	7.1	11.2	2.9	90.5	1	4.7	20.2	32.7	12	2
5月	12.5	16.6	8.6	12.5	-	4.3	15.6	24.9	5	1
6月	14.6	18.3	11.3	132.0	-	3.6	11.4	18.4	3	-
7月	20.9	24.7	17.9	77.5	-	3.2	9.1	14.7	0	-
8月	20.1	23.7	17.4	95.5	-	4.8	11.9	18.8	4	-
9月	17.2	21.1	13.2	247.0	-	3.5	12.0	20.5	2	-
10月	11.4	14.7	7.7	81.0	-	4.3	14.8	22.6	6	-
11月	4.4	7.3	1.1	183.5	11	4.3	12.7	22.8	7	-
12月	-1.4	0.9	-3.7	154.0	45	4.2	13.0	28.8	4	-
29年平均等	8.8	24.7	-4.5	1245.5	45.0	4.1	20.2	32.7	58	3

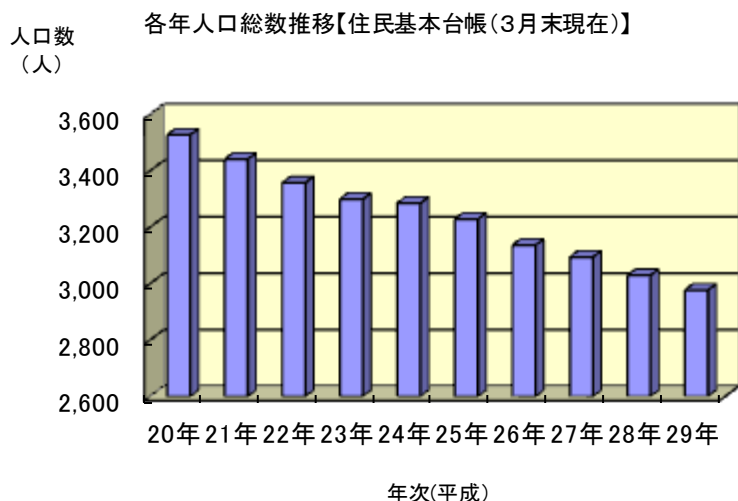
※「平均等」欄の記載について

- ①「気温」は、左から順に年間の平均、最高、最低気温を記載
- ②「降水量」は、年間降水量を記載
- ③「最深積雪量」は、年間の最深積雪量を記載
- ④「風速」は、左から順に年間の平均、最大、瞬間最大風速を記載
- ⑤「最大風速10m/s以上の日」は、日数の累計を記載

## 2 人 口

平成30年3月31日現在、男1,448人、女1,529人の計2,977人となっています。高齢者（65歳以上）の比率は39.8%となっています。少子高齢化という社会的現象は進む傾向にあります。

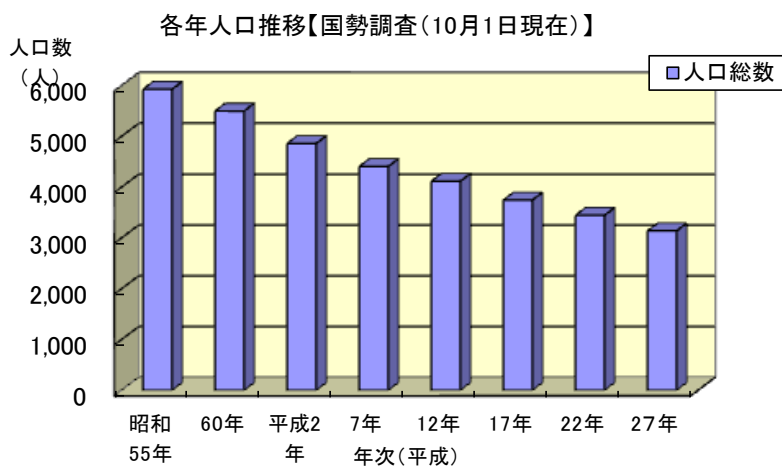
### 2-1 総人口数



#### ■人口総数推移

年次(平成)	20年	21年	22年	23年	24年
計	3,527	3,441	3,357	3,299	3,285

年次(平成)	25年	26年	27年	28年	29年
計	3,229	3,136	3,094	3,029	2,977

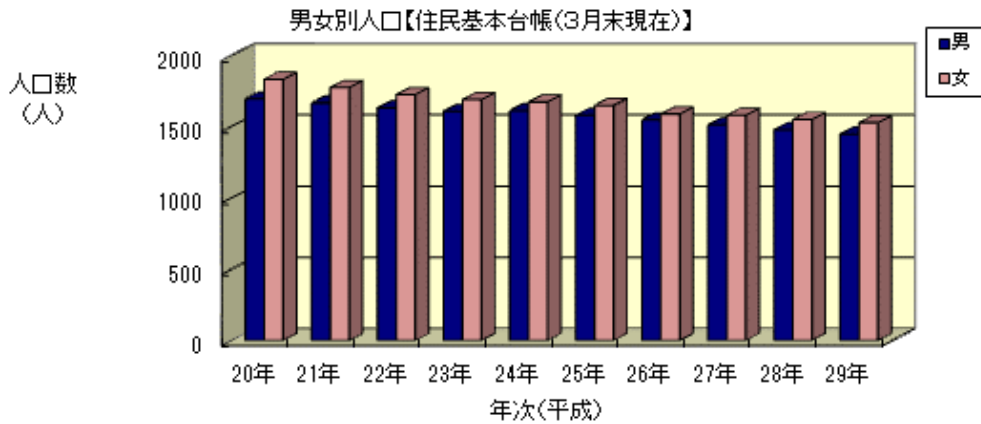


#### ■人口総数推移

年次	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年
人口	5,925	5,497	4,858	4,405	4,114	3,744	3,443	3,137

2-2 男女別人口

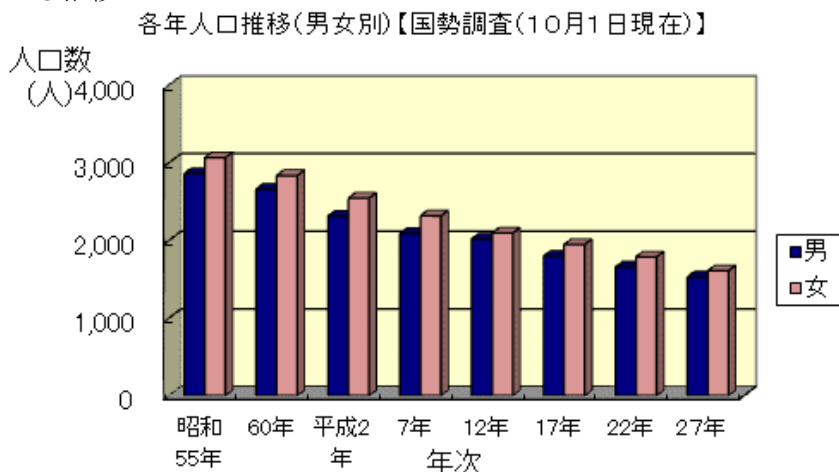
■住民基本台帳による推移



年次(平成)	20年	21年	22年	23年	24年
男	1694	1,666	1,632	1,608	1,612
女	1833	1,775	1,725	1,691	1,673
計	3,527	3,441	3,357	3,299	3,285
世帯数	1,827	1,817	1,786	1,781	1,767

年次(平成)	25年	26年	27年	28年	29年
男	1,580	1,547	1,513	1,478	1,448
女	1,649	1,589	1,581	1,551	1,529
計	3,229	3,136	3,094	3,029	2,977
世帯数	1,742	1,747	1,716	1,695	1,676

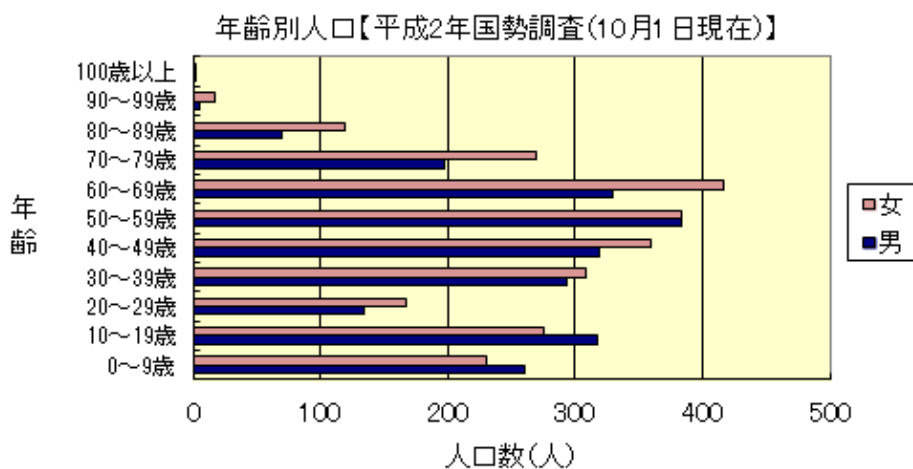
■国勢調査による推移



年次	昭和55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年
男	2,860	2,661	2,312	2,089	2,019	1,797	1,656	1,528
女	3,065	2,836	2,546	2,316	2,095	1,947	1,787	1,609
計	5,925	5,497	4,858	4,405	4,114	3,744	3,443	3,137
世帯数	1,917	1,830	1,764	1,699	1,683	1,642	1,536	1,420

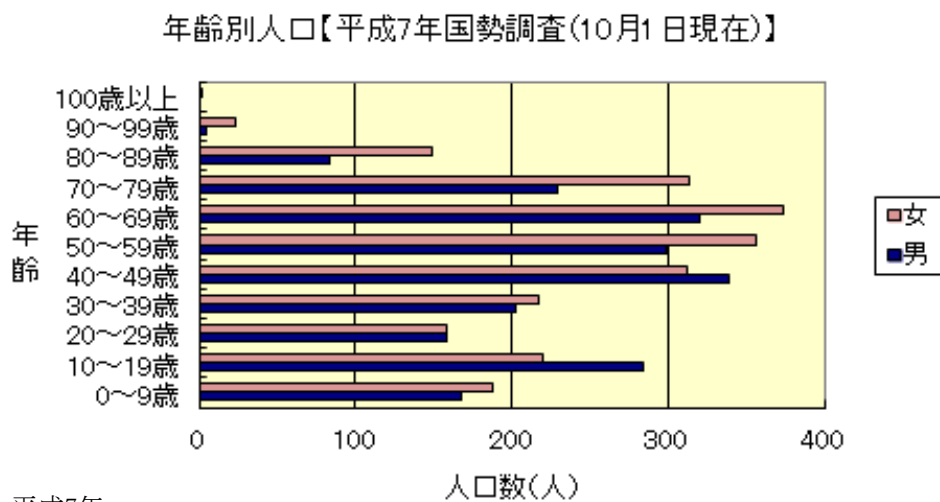
2-3 年齢別男女人口

■国勢調査による推移（平成2年・7年・12年・17年・22年・27年）



平成2年	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
男	261	317	134	293	319	383
女	230	275	167	309	359	384

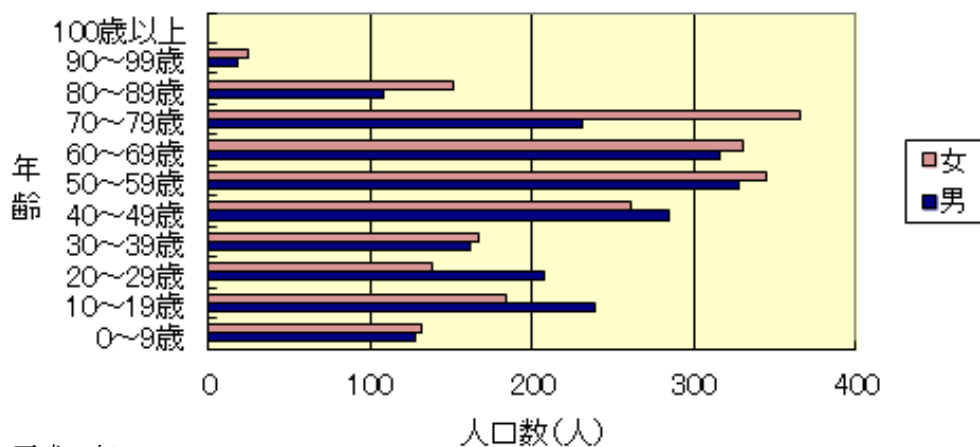
年齢階層	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上
男	330	198	70	5	1
女	417	269	120	17	1



平成7年	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
男	168	284	158	203	339	299
女	188	220	158	218	313	356

年齢階層	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上
男	321	229	83	5	0
女	374	314	149	24	2

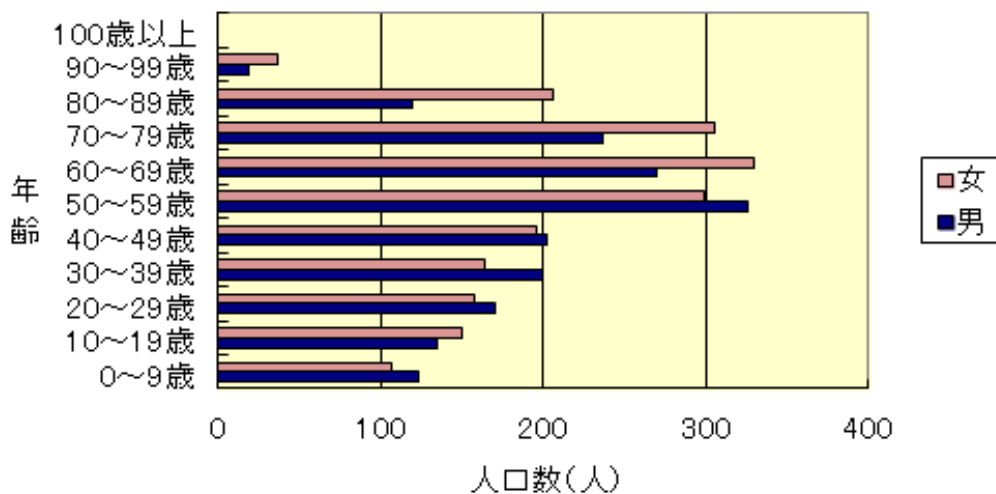
年齢別人口【平成12年国勢調査(10月1日現在)】



年齢階層	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
男	128	238	207	162	284	328
女	131	184	138	167	261	344

年齢階層	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上
男	316	231	108	17	0
女	330	365	151	24	0

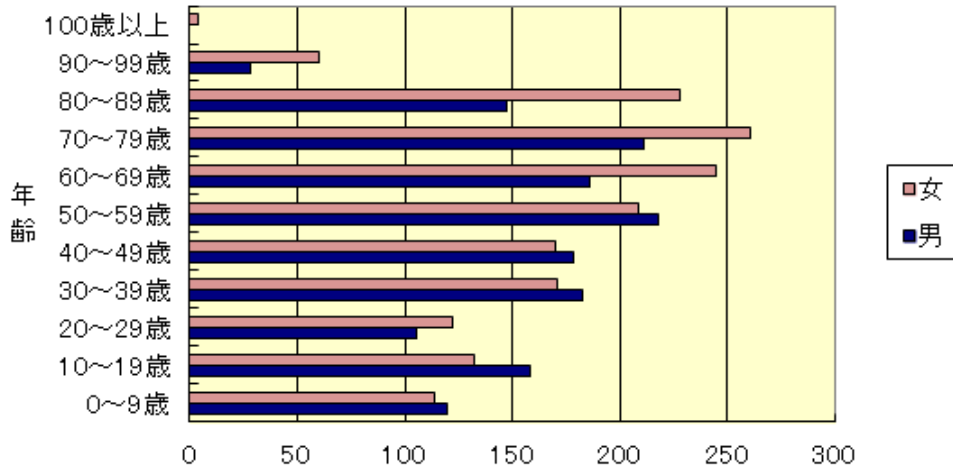
年齢別人口【平成17年国勢調査(10月1日現在)】



年齢階層	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
男	123	135	170	199	202	326
女	106	150	157	164	195	299

年齢階層	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上
男	269	236	119	18	0
女	329	305	206	36	0

年齢別人口【平成22年国勢調査(10月1日現在)】

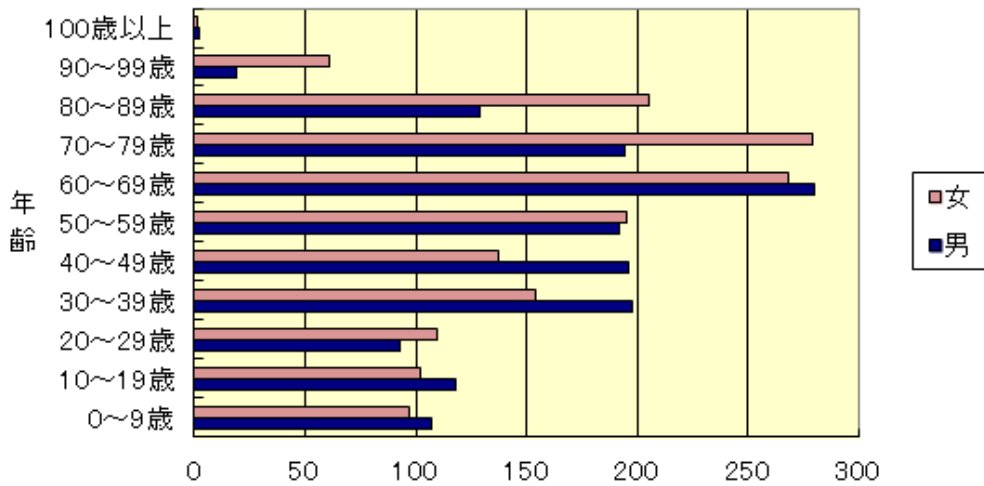


平成22年 人口数(人)

年齢階層	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
男	120	158	105	183	178	218
女	114	132	122	171	170	209

年齢階層	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上
男	186	211	147	28	0
女	245	261	228	60	4

年齢別人口【平成27年国勢調査(10月1日現在)】



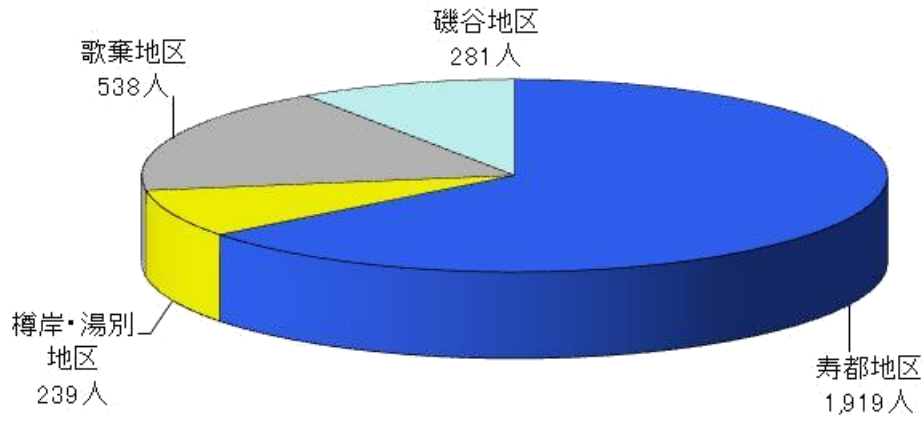
平成27年 人口数(人)

年齢階層	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
男	107	118	93	198	196	192
女	97	102	110	154	137	195

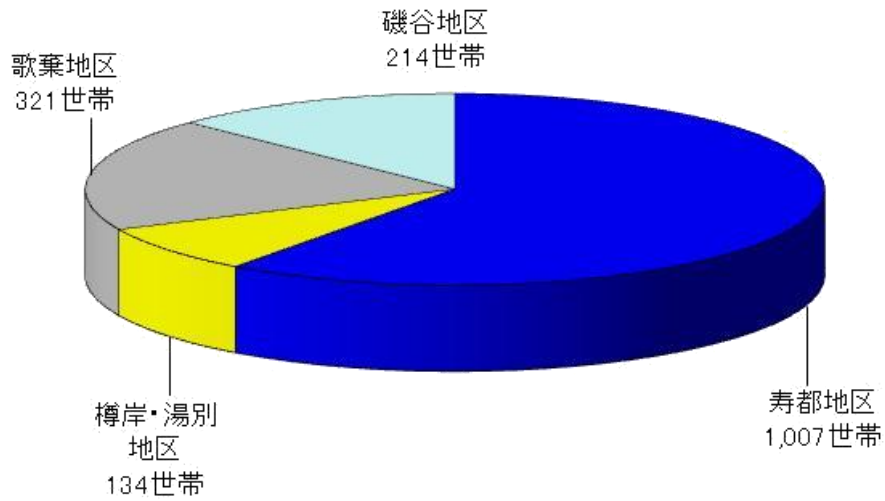
年齢階層	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上
男	280	194	129	19	2
女	268	279	205	61	1

2-4 地区別人口・世帯数、世帯の種類

地区別人口数【平成30年3月31日現在】



地区別世帯数【平成30年3月31日現在】



■世帯の種類【各年国勢調査(10月1日現在)】

年次	一般世帯						施設等		
	世帯人員別世帯数					世帯人員	1世帯あたり人員	世帯数	世帯人員
	世帯総数	1人	2人	3人	4人以上				
平成2年	1,754	436	590	287	441	4,551	2.59	10	307
7年	1,682	489	595	264	344	4,085	2.43	17	320
12年	1,678	565	595	244	274	3,767	2.23	5	347
17年	1,636	633	576	222	205	3,384	2.07	6	360
22年	1,536	615	520	230	163	3,075	2.01	8	368
27年	1,413	602	467	200	144	2,773	1.96	7	364

### 3 産業経済

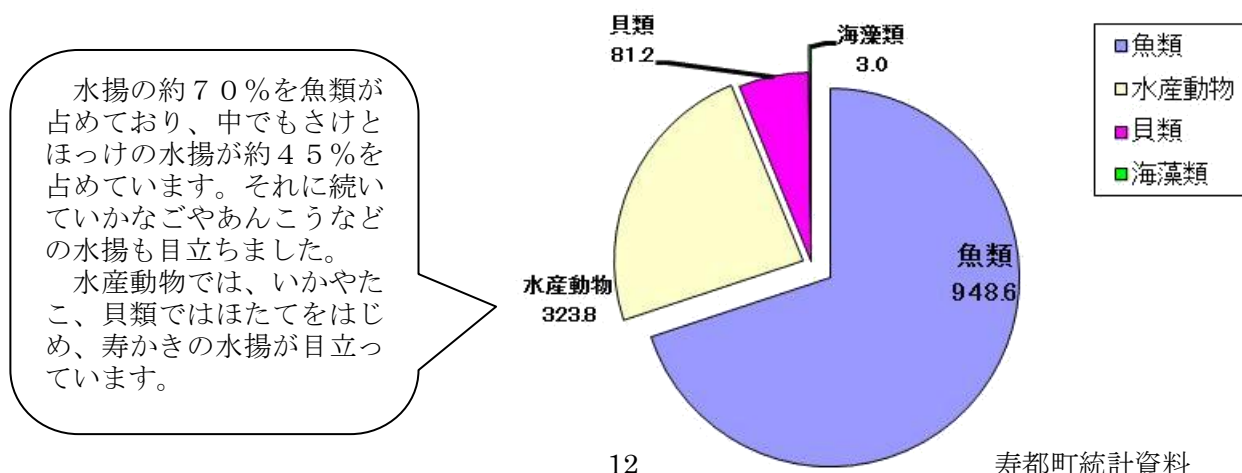
#### 3-1 漁業

寿都町における漁業の歴史は古く、町史によると1600年代に豊富なニシンを背景に和人が集落を形成し、住み着いたことが町の始まりとされています。以来、寿都町は漁業を中心として発展してきました。200海里問題以降は沿岸漁業へ移行し、比較的穏やかな寿都湾の特性を活かしたつくり育てる漁業を展開し現在に至ります。近年は、海洋環境の変化や資源量の減少により漁獲量は減少傾向にありますが、安定した生産の見込める養殖漁業の拡充や漁獲物の高付加価値化・販路拡大により漁業生産力と漁業所得向上を図っております。

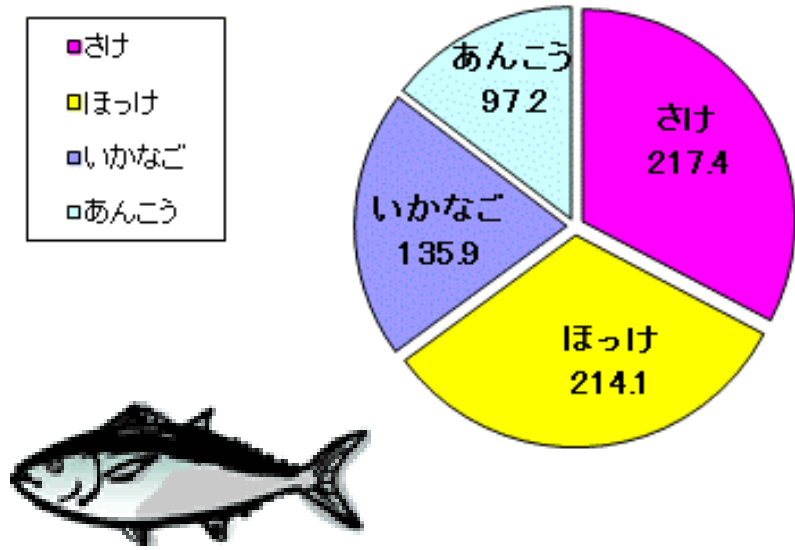
魚類			水産動物			貝類			海藻類		
区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額	区分	漁獲量	金額
さけ	217.4	207,841	いか	152.9	93,672	あわび	0.4	2,666	採藻(生)	2.9	3,557
ます	4.6	4,222	たこ	93.4	39,549	つぶ	2.4	1,119	採藻(製)	0.0	0
たら	43.4	7,279	なまこ	46.6	252,194	ほたて	67.6	31,818	その他	0.1	55
すけとうだら	0.0	3	うに	26.7	40,694	ほっき	0.8	501			
ほっけ	214.1	37,850	えび	3.4	3,171	かき	9.9	7,369			
さば	4.3	918	かに	0.8	443	その他	0.1	64			
いわし	0.0	1									
にしん	4.2	841									
ひらめ	25.4	15,547									
かれい	34.3	4,395									
まぐろ	0.0	0									
ぶり	82.0	12,488									
いかなご	135.9	75,002									
めばる	9.2	2,617									
そい	16.8	3,595									
あぶらこ	5.2	927									
あんこう	97.2	39,232									
かすべ	29.9	3,313									
かわはぎ	1.4	472									
ふぐ	0.6	52									
その他	22.7	10,151									
魚類			水産動物			貝類			海藻類		
小計	948.6	426,744	小計	323.8	429,722	小計	81.2	43,537	小計	3.0	3,612

#### 3-1-1 魚種別漁獲量推移【平成29年 寿都町漁業協同組合調べ】

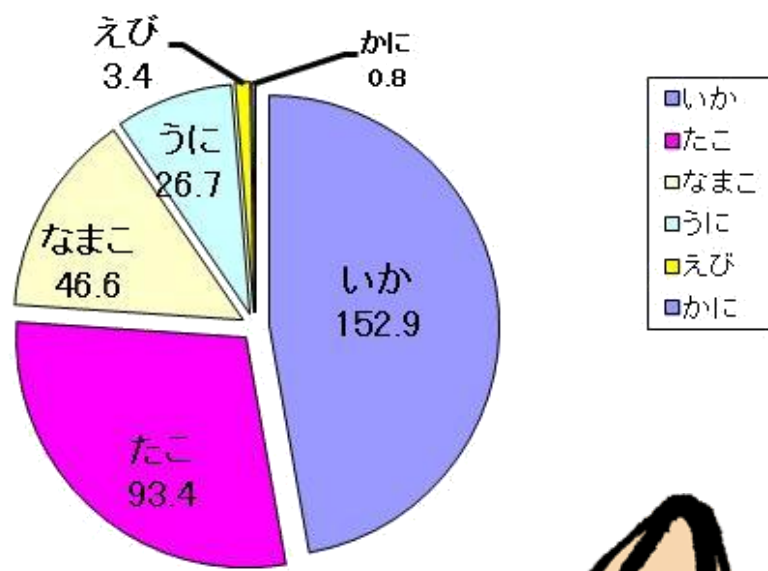
平成29年魚種別漁獲量【t】



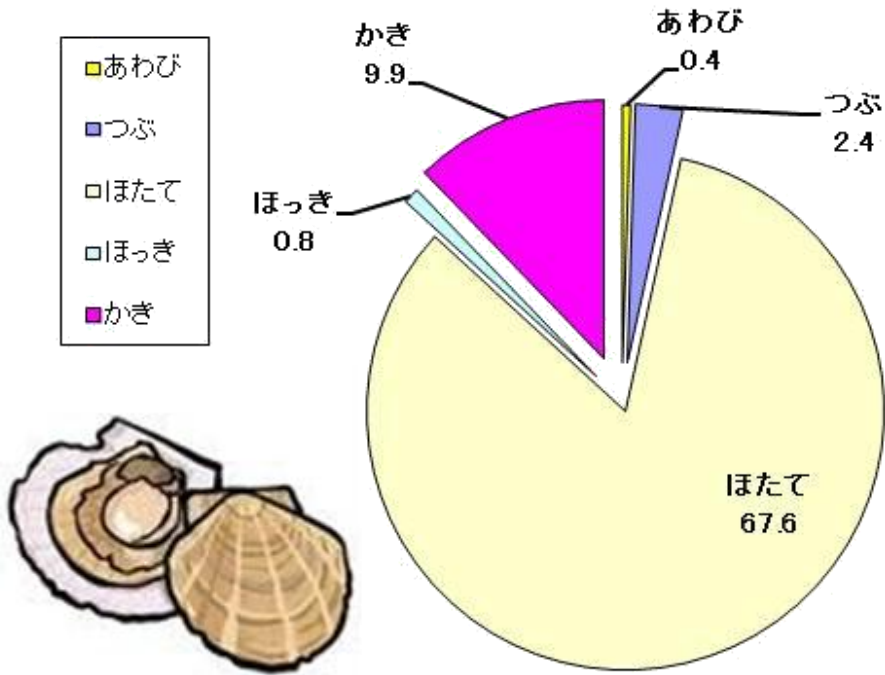
平成29年魚種別漁獲量【魚類/t】



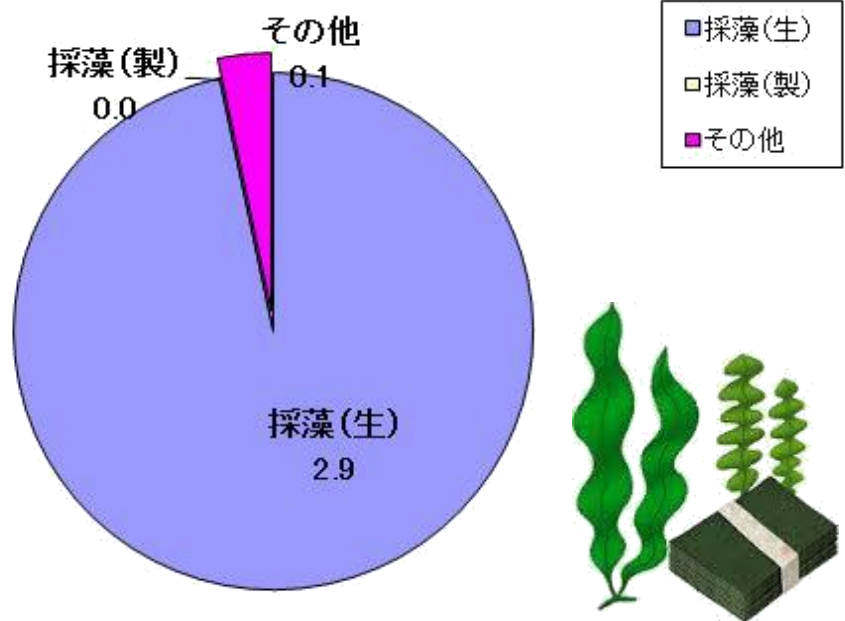
平成29年魚種別漁獲量【水産動物/t】



平成29年魚種別漁獲量【貝類/t】



平成29年魚種別漁獲量【海藻類/t】



### 3-2 商業【各年商業統計調査（6月1日現在）人・百万円】

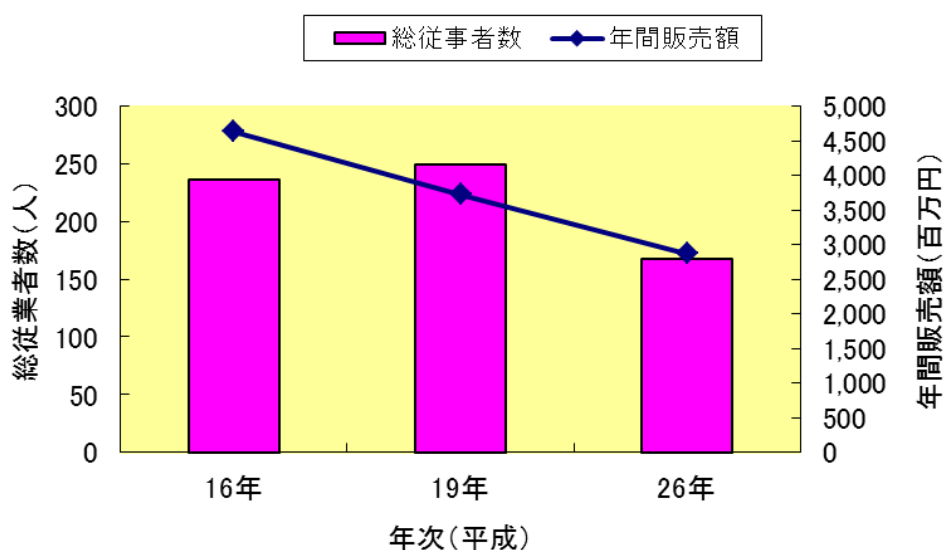
商業活動の実態を明らかにするため、商業（卸売業・小売業）を営む全国の商店を対象に実施している調査の結果です。

・総従事者数と年間販売額

■商業【各年商業統計調査 単位:人・百万円】

年次(平成)	16年	19年	26年
総従事者数	236	249	167
年間販売額	4,635	3,726	2,864

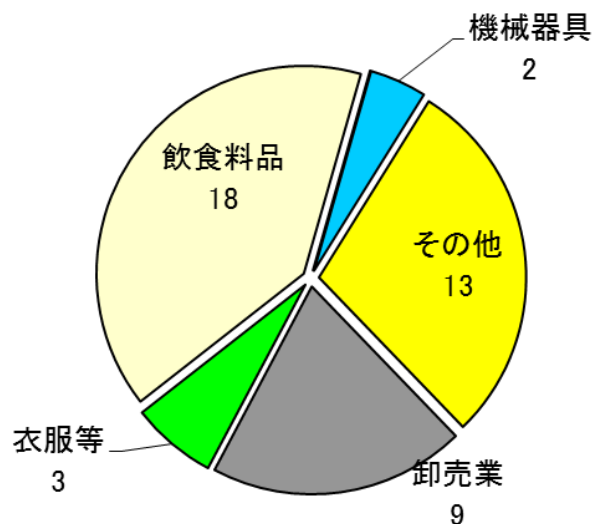
商業統計調査



■分類別事業所数…平成26年総事業所数45

【内訳 卸売業…9 小売業(機械器具・飲食品・衣服・自動車・その他)…36】

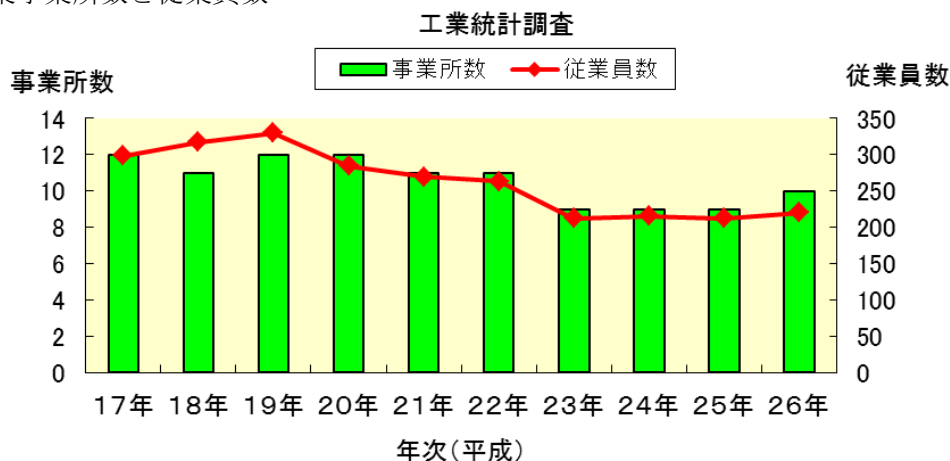
分類別事業所数【平成26年】



3-3 工業【各年工業統計調査（平成17年～平成26年：12月31日現在、  
平成29年～：6月1日現在）人・百万円】

製造業の実態を明らかにするため、全国の製造業を営む事業所（工場）を対象に毎年実施している調査の結果です。（平成20年以外の場合、従業員3人以下の製造所は含まれていません。）

・製造業事業所数と従業員数



■工業【工業統計調査(人・百万円)】

年次(平成)	17年	18年	19年	20年	21年
事業所数	12	11	12	12	11
従業員数	298	317	330	284	269
製造品出荷額	3,891	3,160	3,251	3,246	3,260

年次(平成)	22年	23年	24年	25年	26年
事業所数	11	9	9	9	10
従業員数	263	212	215	212	220
製造品出荷額	3,047	2,691	2,739	2,768	3,025

※平成27年工業統計調査については、平成28年経済センサス活動調査（平成28年6月1日現在）実施のため行われませんでした。  
また、工業統計調査は例年12月1日現在で実施されておりましたが、調査日を6月1日に変更したため、平成28年は実施されませんでした。  
平成29年工業統計調査については、現在集計中です。

製造業を営む事業所の約8割が水産加工業者で、寿都湾で水揚げされた新鮮な魚介類をさらにおいしく加工して出荷しているんだ。小女子（いかなご）を生のまま炊き上げた「生炊きしらす佃煮」や「ほっけの飯寿し」などが町を代表する特産品として、全国的にも好評を得ているよ！



### 3-4 事業所数

【各年事業所・企業統計調査（10月1日現在）経済センサス（6月1日現在）】

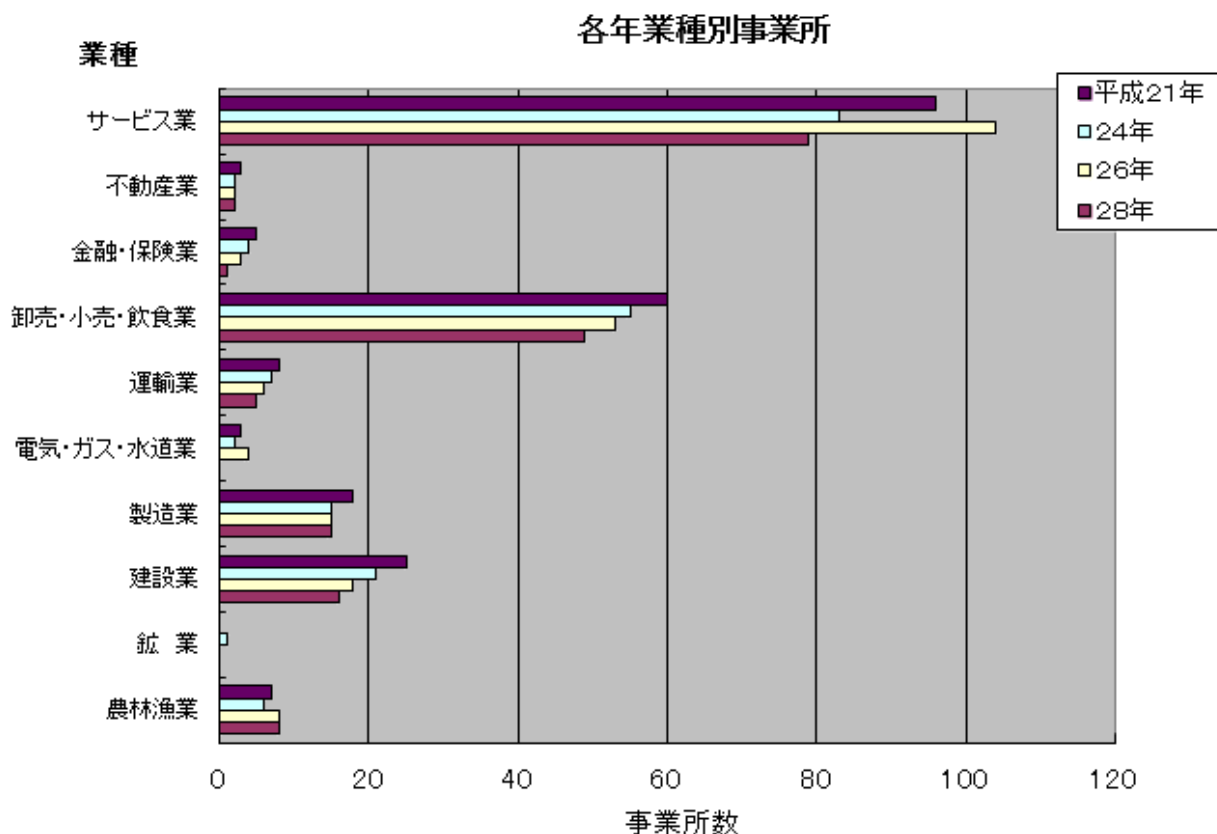
事業所の事業活動及び企業の企業活動の実態を明らかにし、施策を進めるため実施される調査です。事業所及び企業の産業、従業者規模等の基本的な構造を調査したものです。

#### ■産業分類別事業所数

年次\分類	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸業
平成21年	7	-	25	18	3	8
24年	6	1	21	15	2	7
26年	8	-	18	15	4	6
28年	8	-	16	15	-	5

年次\分類	卸売・小売・飲食業	金融・保険業	不動産業	サービス業	総数
平成21年	60	5	3	96	225
24年	55	4	2	83	196
26年	53	3	2	104	213
28年	49	1	2	79	175

平成24・26・28年は経済センサス基礎及び活動調査を出典としています。



### 3-5 農 業

農業経営体については、各年農林業センサス（農林業の生産構造、農業・林業生産の基礎となる諸条件等を総合的に把握することにより、基本構造の現状と動向を明らかにし、農林業施策等について行う諸統計調査に必要な基礎資料を整備することを目的に5年に1回実施）によって調査した数字になります。品目別収穫量については、JAで取り扱っている寿都産農産物の中でも収穫量の多いものを取り上げています。

#### ■農業経営体

【各年農林業センサス 単位：経営体、ha】

年次	農家数					耕地面積		
	総数	販売農家	専業	兼業		総面積	田	畑
				第1種	第2種			
平成17年	75	28	14	2	12	76.5	6.9	69.6
22年	27	14	7	5	13	7.2	0.5	6.7
27年	15	11	7	2	6	4.2	0.2	4.0

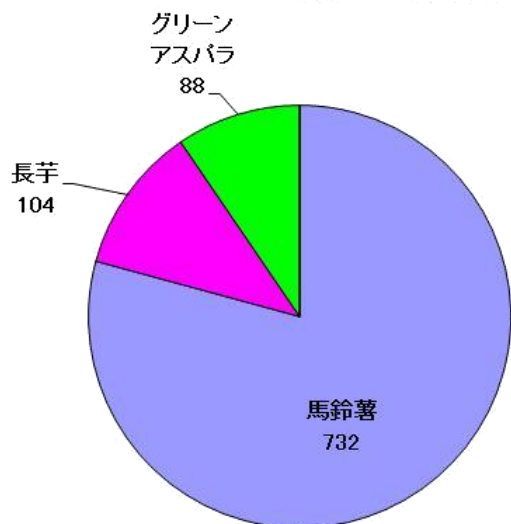
#### ■品目別収穫量（JA取扱分）【各年1月～12月 単位：t・万円（肉牛については頭）】

品目	25年		26年		27年	
	収穫量	金額	収穫量	金額	収穫量	金額
馬鈴薯	189.8	680	187.2	786	169.4	649
長芋	18.5	328	1.2	21	4.7	83
グリーンアスパラ	1.2	85	1.5	94	2.2	175
いちご	0.5	55	-	-	-	-
肉牛	28頭	1,237	31頭	1,721	26頭	1,672

品目	28年		29年	
	収穫量	金額	収穫量	金額
馬鈴薯	237.3	1,073	223.3	732
長芋	3.8	64	6.1	104
グリーンアスパラ	1.4	103	1.0	88
いちご	-	-	-	-
肉牛	33頭	2,378	30頭	2,243



平成29年 品目別金額【万円】



■馬鈴薯
■長芋
■グリーンアスパラ

全体的に見て安定して収穫があるのは、馬鈴薯となっており、平成29年には、223.3tの収穫があります。

漁業とともに寿都町を支える産業として発展することが期待されます。

## 4 観光

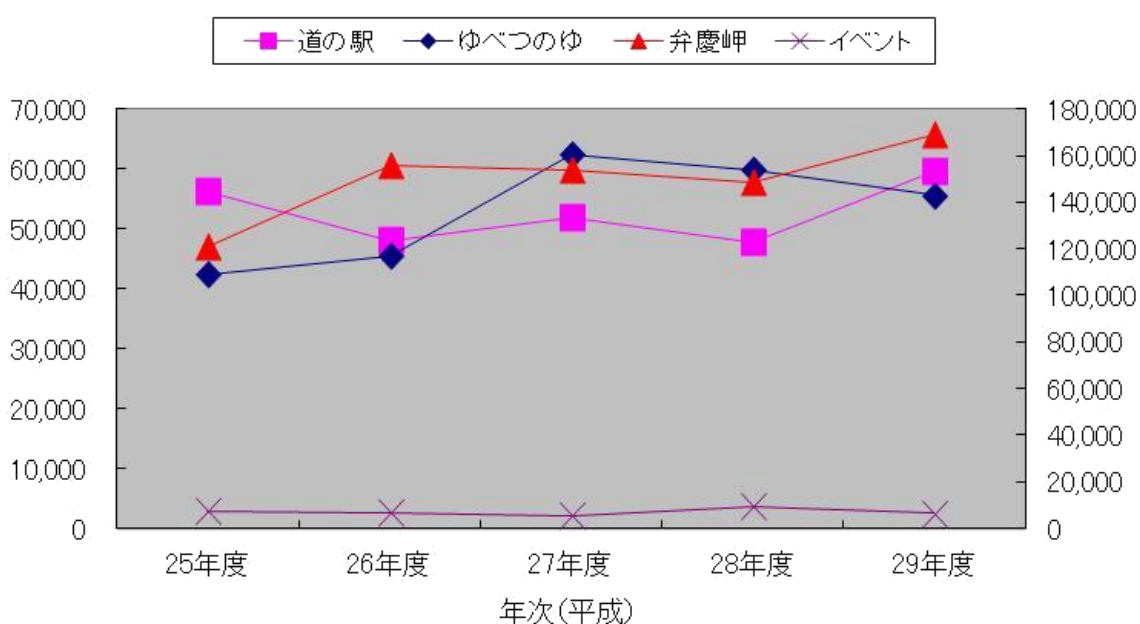
### 4-1 観光客入込み状況

寿都町は、道立自然公園を有する「弁慶岬」、国史跡指定の「旧歌棄佐藤家漁場」（カクジュウ佐藤家）、自治体として全国で初めて導入した「風力発電施設」、異なる2種類の泉質を持つ公共温泉「寿都温泉ゆべつのゆ」、まちの観光情報発信拠点の「道の駅みなとま〜れ寿都」などの観光名所が存在します。

四季折々にさまざまな魚種が水揚げされる寿都湾は、その豊富な水産資源がまちの魅力でもある「食」となり、中でも春が旬の「寿かき（ことぶきかき）」や「小女子（こうなご）」は寿都を代表する特産品として多くの方に人気です。それら食の魅力を堪能できるイベントや、歴史・海などをテーマとした寿都ならではの滞在交流プログラムの実施など、交流人口の増加を図る取り組みを実践しています。

一般社団法人寿都観光物産協会によるまちのプロモーション活動に加え、寿都町漁業協同組合による「すつつ浜直市場」の運営、平成29年6月には、まちの歴史資材・旧鯉御殿を改修した「そば処鯉御殿」をオープン、さらに11月にはニセコエリアに「寿都アンテナショップ神楽」をオープンし、ニセコから寿都の魅力を発信し、さらなる交流人口の増加による地域活性化を推進しています。

観光客入り込み数(人)



■観光客入り込み数(人)

年次		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
地点別	道の駅	56,209	47,909	51,925	47,689	59,622
	ゆべつのゆ	42,442	45,406	62,454	59,693	55,570
	弁慶岬	121,013	155,473	154,053	148,366	169,161
	イベント	7,500	6,800	5,100	9,200	6,310
計		227,164	255,588	273,532	264,948	290,663

## 5 生活

### 5-1 教育…学校、社会教育施設

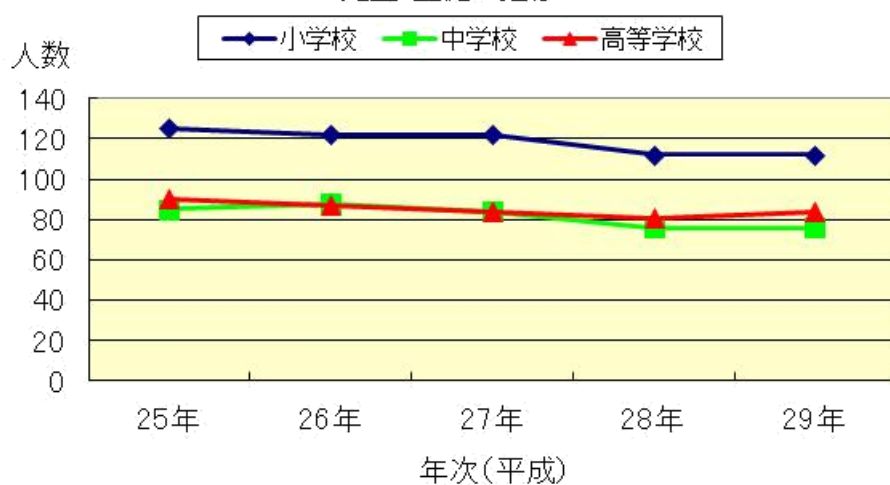
学校教育においては、小学校2校、中学校1校、高等学校1校があり、少子化により児童・生徒数は減少傾向にあります。教育水準の向上のため、各種施設の整備や地域環境を利用した体験学習を行っています。

#### ■学校

平成29年学校基本調査

学校名	学級数	児童・生徒数			教職員数	所在地
		総数	男	女	総数	
寿都小学校	9	80	41	39	19	寿都町字矢追町801-1
潮路小学校	7	32	22	10	13	寿都町字歌棄町歌棄155
寿都中学校	3	76	45	31	13	寿都町字六条町290-1
寿都高等学校	3	84	49	35	13	寿都町字新栄町136
計	22	272	157	115	58	

児童・生徒の推移



#### ■児童・生徒の推移

(学校基本調査)

年次(平成)	小学校				中学校				高等学校		
	学校数	学級数	児童数	教員数	学校数	学級数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
25年	2	13	125	33	1	4	85	14	1	90	17
26年	2	13	122	29	1	4	88	15	1	87	13
27年	2	13	122	31	1	5	84	13	1	84	17
28年	2	13	112	30	1	5	76	16	1	81	17
29年	2	16	112	32	1	3	76	13	1	84	13

※高等学校については、道立高校のため道の調査による結果

#### ■社会教育施設

区分	公民館	図書室	体育館	ソフト ボール場	パーク ゴルフ場	スキー場	運動 広場	プール	テニス コート	キャンプ場
設置数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-

## 5-2 医療・福祉

平成17年度から、町立寿都診療所の開設により、家庭医療科を設け、救急医療にも対応するなど、充実した地域医療を提供できるようになりました。平成30年4月1日からは指定管理者制度の導入により、北海道家庭医療学センターによる運営が開始され、より一層充実した医療提供を図っていきます。

### ■医療施設【平成30年4月1日現在】

区分	病院	医院	診療所	歯科医院	
名称	-	原答院医院	寿都診療所	寿都歯科	星 歯科
運営形態	-	民営	公設民営	民営	民営
病床	-	-	19	-	-
医師	-	1	3	1	1
看護師	正看護師	-	2	12	-
	准看護師	-	1	-	-
理学療法士	-	-	1	-	-
放射線技師	-	-	1	-	-
薬剤助手	-	-	1	-	-
歯科助手	-	-	-	4	1
歯科衛生士	-	-	-	1	2

### ■国民年金【平成30年3月31日現在(人・百万円)】

区分	被保険者数				年金受給者数	年金総額
	総数	第1号	任意	第3号		
	483	345	7	131	-	-

(7月以降に判明)

### ■国民健康保険【各年平均】

年次(平成)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
世帯数	623	577	565	543	518
被保険者数	931	892	849	793	738

### ■社会福祉施設

区分	老人	身体障害者	知的障害者	児童母子	生活保護	その他福祉施設
設置数	1	-	3	2	-	-

5-3 火災・救急

■平成29年火災発生状況

火災件数		焼損面積 (㎡)	焼損 表面積(㎡)	火災損害額 (千円)	り災		死傷者
建物	車				世帯	人員	
1	0	287	-	6,684	1	2	-

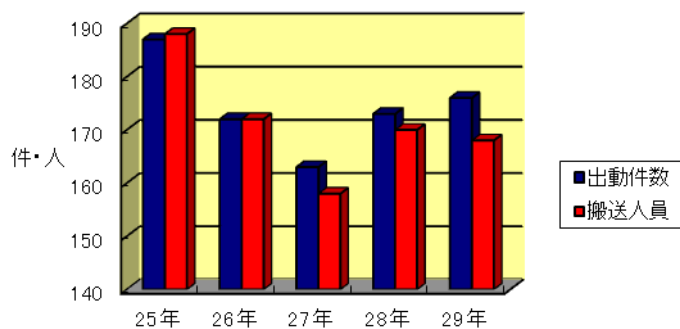
■事故種別、出動件状況

順位	種別	出場件数	構成比(%)	前年比較
1	転院搬送	70	39.77	△ 11
1	急病	70	39.77	6
3	一般負傷	15	8.52	0
4	その他	7	3.98	△ 1
5	労働災害	6	3.41	5
6	交通事故	3	1.70	△ 1
7	医師搬送	2	1.14	2
8	火災事故	1	0.57	1
8	運動競技	1	0.57	1
8	水難事故	1	0.57	1
11	自損行為	0	0	0
11	自然災害	0	0	0
11	加害	0	0	0
11	器材輸送	0	0	0
計		176	100.00	3

転院搬送と急病が出動状況の約8割近くを占めています。



過去5年間の救急活動推移



年次(平成)

件名\年次	25年	26年	27年	28年	29年
出動件数	187	172	163	173	176
搬送人員	188	172	158	170	168

## 6 財 政

平成30年度当初予算について、一般会計歳入歳出が53億4,200万円、特別会計歳入歳出合計が18億6,340万円で総額72億540万円となっています。

平成30年度当初予算

### 6-1 平成30年度一般会計歳入歳出予算

■平成30年度一般会計歳入歳出予算【当初予算:千円・%】

歳 入				歳 出			
科 目	予算額	構成比	科 目	予算額	構成比		
町 税	221,810	4.20	議 会 費	39,075	0.70		
地 方 譲 与 税	24,000	0.40	総 務 費	1,970,946	36.90		
利 子 割 交 付 金	500	0.00	民 生 費	553,259	10.40		
配 当 割 交 付 金	800	0.00	衛 生 費	479,993	9.00		
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	600	0.00	労 働 費	1,376	0.05		
地 方 消 費 税 交 付 金	65,000	1.20	農 林 水 産 費	73,042	1.40		
自 動 車 取 得 税 交 付 金	3,500	0.10	商 工 費	172,027	3.20		
地 方 特 例 交 付 金	700	0.00	土 木 費	545,704	10.20		
地 方 交 付 税	1,740,000	32.60	消 防 費	171,193	3.20		
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	500	0.00	教 育 費	471,626	8.80		
分 担 金 及 び 負 担 金	21,146	0.40	災 害 復 旧 費	19	0.00		
使 用 料 及 び 手 数 料	65,620	1.20	公 債 費	861,740	16.10		
国 庫 支 出 金	352,782	6.60	予 備 費	2,000	0.05		
道 支 出 金	103,613	1.90					
財 産 収 入	16,267	0.30					
寄 附 金	1,000,006	18.80					
繰 入 金	949,721	17.80					
繰 越 金	11,000	0.20					
諸 収 入	235,635	4.40					
町 債	528,800	9.90					
合 計	5,342,000	100.00	合 計	5,342,000	100.00		

6-2 各特別会計予算

■平成30年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算【当初予算:千円】

歳 入		歳 出	
科 目	予算額	科 目	予算額
国民健康保険税	57,866	総 務 費	11,304
使用料及び手数料	50	保 険 給 付 費	311,781
道 支 出 金	315,974	国民健康保険事業費給付金	84,725
財 産 収 入	10	保 健 事 業 費	7,364
繰 入 金	42,373	基 金 積 立 金	10
繰 越 金	1	公 債 費	110
諸 収 入	126	諸 支 出 金	106
		予 備 費	1,000
合 計	416,400	合 計	416,400

■平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算【当初予算:千円】

歳 入		歳 出	
科 目	予算額	科 目	予算額
後期高齢者医療保険料	28,907	総 務 費	695
使用料及び手数料	1	後期高齢者医療広域連合納付金	49,100
国 庫 支 出 金	206		
繰 入 金	20,676	諸 支 出 金	105
繰 越 金	1		
諸 収 入	109		
合 計	49,900	合 計	49,900

■平成30年度介護保険事業特別会計歳入歳出予算【当初予算:千円】

介護保険事業勘定 歳入歳出

歳 入		歳 出	
科 目	予算額	科 目	予算額
保 険 料	73,398	総 務 費	6,991
使 用 料 及 び 手 数 料	2	保 険 給 付 費	377,687
国 庫 支 出 金	106,070	基 金 積 立 金	5
支 払 基 金 交 付 金	102,988	地 域 支 援 事 業 費	43,418
道 支 出 金	60,803	公 債 費	10
財 産 収 入	5	諸 支 出 金	41
繰 入 金	84,120	予 備 費	200
繰 越 金	1		
諸 収 入	965		
合 計	428,352	合 計	428,352

介護サービス事業勘定 歳入歳出

歳 入		歳 出	
科 目	予算額	科 目	予算額
サ ー ビ ス 収 入	2,248	繰 出 金	2,248
合 計	2,248	合 計	2,248

■平成30年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算【当初予算:千円】

歳 入		歳 出	
科 目	予算額	科 目	予算額
分 担 金 及 び 負 担 金	1,754	総 務 費	55,717
使 用 料 及 び 手 数 料	80,362	施 設 費	11,333
財 産 収 入	1	公 債 費	71,650
繰 入 金	55,714	予 備 費	200
繰 越 金	1,000		
諸 収 入	69		
合 計	138,900	合 計	138,900

■平成30年度公共下水道事業特別会計歳入歳出予算【当初予算:千円】

歳 入		歳 出	
科 目	予算額	科 目	予算額
分担金及び負担金	10,557	総務費	60,653
使用料及び手数料	40,397	施設費	47,834
国庫支出金	12,500	公債費	124,913
道支出金	50	予備費	200
財産収入	1		
繰入金	138,736		
繰越金	1,000		
諸収入	759		
町債	29,600		
合 計	233,600	合 計	233,600

■平成30年度風力発電事業特別会計歳入歳出予算【当初予算:千円】

歳 入		歳 出	
科 目	予算額	科 目	予算額
分担金及び負担金	25,659	電気事業費	186,173
財産収入	100	公債費	194,527
繰越金	2,000	諸支出金	213,000
諸収入	566,241	予備費	300
合 計	594,000	合 計	594,000

## 7 歴史

朱太川河口で発見された遺跡では、今から約 3000 年前（縄文後期）にすでにこの地に人が住み着いていたことを示しています。

寛文 9 年（1669 年）、蝦夷酋長ジャクシャインの乱の記録によると、このころ、スツツ、ヲタスツ、イソヤは商場所ができていて、交易も盛んだったと言われております。和人も多く住み、集落を形成し、これを本町の始まりとしています。

元禄元年（1688 年）に神威岬から北への婦女子通行禁止令がしかれ、この地方に土着する者が増加、安政 2 年には、北方警備のため津軽藩出張陣屋が置かれ、藩士 100 人も駐在していました。

やがて明治維新になり、スツツは開拓使函館支庁の管轄となり、明治 12 年には寿都郡役所が置かれ、町村制施行（明治 33 年）によって、寿都町、樽岸村、歌棄村、磯谷村、政泊村となりました。

大正 9 年には寿都～黒松内間に寿都鉄道が開通し、経済活動の一翼を担いました。

昭和 8 年、政泊村と寿都町が合併し、その後 30 年 1 月 15 日寿都町と、樽岸村、歌棄村、磯谷村の 1 町 3 村が合併し、新しい「寿都町」となり現在に至っています。

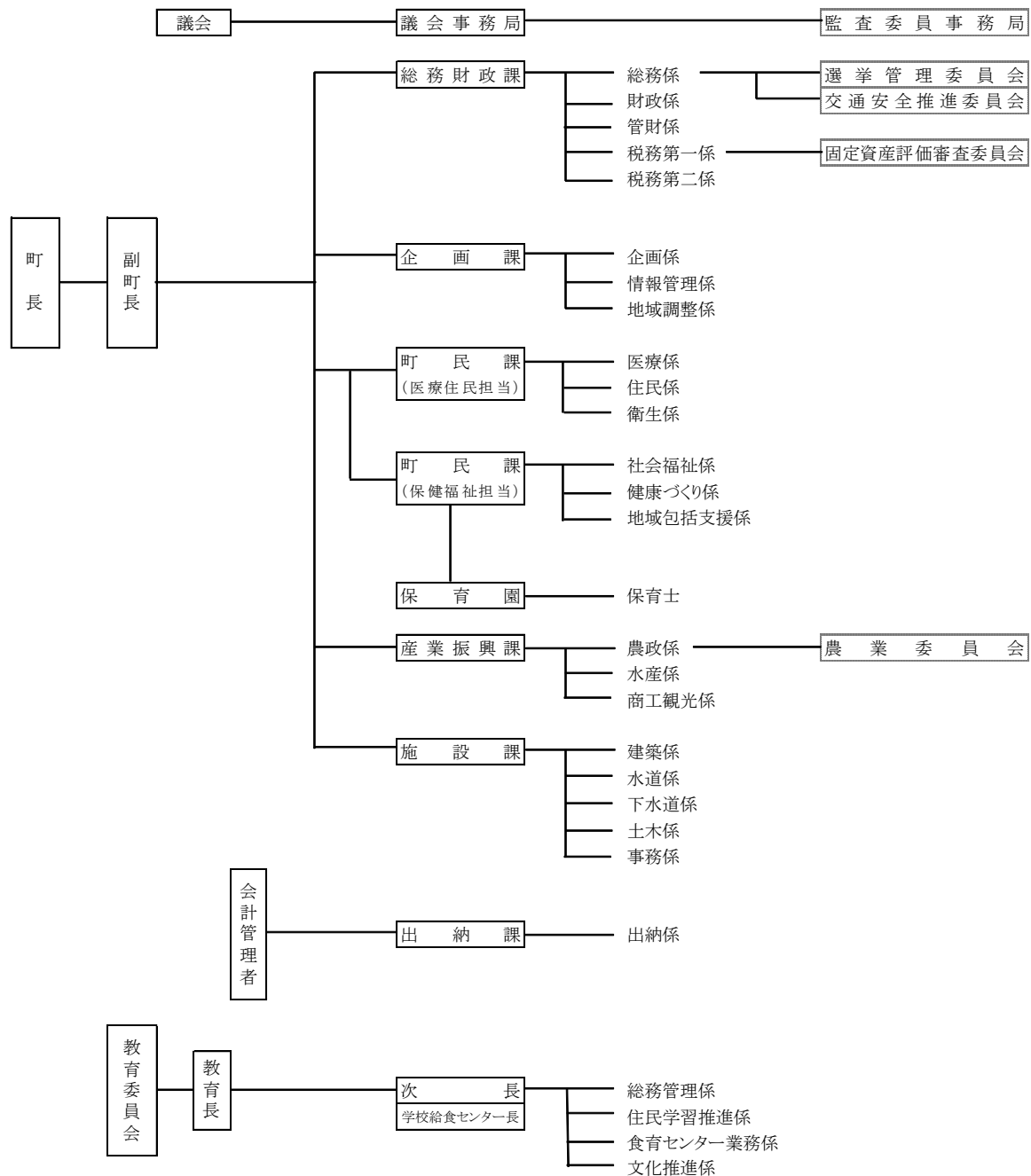
### ■沿革

年号	年	西暦	できごと
寛文	9	1699	ジャクシャインの乱が起き、この地方も戦場となる。
元禄	元	1688	神威岬から北への婦女子通行禁止令により、寿都地方に土着する者が増える。
嘉永	3	1850	伊藤伊三右衛門、鯉建網を考案。
安政	2	1855	寿都に津軽藩出張陣屋が置かれる。
	6	1859	歌棄竜昌寺建立。（町内最古の寺院）
明治	2	1869	「えぞ」を北海道に改め、「スツツ」が寿都となる。
	4	1871	寿都に函館官立病院寿都出張病院できる。【旧道立病院（現寿都診療所）の前進】
	5	1872	寿都、歌棄、磯谷郡に戸長を置く。函館支庁の管轄となる。
	7	1874	歌棄、磯谷で郵便取扱所開設。
	10	1877	函館警察署巡査出張所を中歌村に創設。
	11	1878	中歌小学校（現寿都小）創立、本町最初の公立小学校。
	12	1879	歌棄、磯谷小学校設立。寿都郡役所設置。寿都地区裁判所を設置。
	14	1881	溪川小学校（旧樽岸小）創立。
	15	1882	美谷、横澗小学校、分校として発足。美谷小19年、横澗小17年に独立。寿都警察署分署、警察署に昇格。
	16	1883	湯別、政泊小学校創立。
	17	1884	寿都観測所、郡区役所に設ける。
	22	1889	弁慶岬に寿都灯台ができる。
	24	1891	津軽藩陣屋跡が学校運動場として使用可能。
	29	1896	寿都税務署を設ける。
	30	1897	寿都支庁を置き、寿都、島牧、歌棄、磯谷の4郡を管轄。
	31	1898	寿都銀行を設立。各地に支店を置く。
33	1900	町村制施行により7月1日1級町村寿都町となる。	
35	1902	私立寿都実業女学校創立。美谷郵便局開局。寿都広尾鉱山創業。	
43	1910	寿都支庁廃止。後志支庁の管轄となる。	
44	1911	能津登隧道開通。	

年号	年	西暦	で き ご と
大正	2	1913	幌別水力電気会社創立。4年から各家庭へ点燈開始。
	3	1914	寿都町火災272戸を焼失。
	8	1919	寿都鉄道開通。(10月)
	12	1923	樽岸村2級町村制をしく。
	13	1924	寿都町火災131戸焼失。
	15	1926	寿都漁港第1期工事始まる。
昭和	8	1933	政泊村、寿都町に合併。
	15	1940	湯別郵便局開局。
	20	1945	東海丸、寿都湾で撃沈される。
	22	1947	寿都地区検察庁、裁判検事局から独立設置。
	24	1949	寿都電報電話局、郵便局から独立。
	25	1950	樽岸遺跡、道文化財の指定を受ける。
	30	1955	寿都町、樽岸村(中の川除く)、歌棄村、磯谷村が合併し新しい「寿都町」が誕生。(後、北尻別地区蘭越町に編入)
	31	1956	寿都町立高等学校が道立移管となる。
	33	1958	有線放送が始まる。北光鉱業(株)、砂鉄採取を開始。
	37	1961	寿都町公民館ができる。三菱寿都鉱山閉山。
	39	1964	中央バス、寿都～小樽間を運行。
	40	1965	寿都漁協、歌棄漁協と合併。磯谷地区水道事業完成。寿都税務署廃庁。
	42	1967	学校給食始まる。
	43	1968	樽岸、歌棄地区水道事業完成。寿都漁協、磯谷漁協と合併。寿都鉄道運休。中央バス、寿都～黒松内間運行。カクジュウ佐藤家、道有形文化財に指定。
	44	1969	湯別地区水道工事完了。
	47	1972	寿都鉄道(株)廃業。
	48	1973	開基300年記念祝賀行事。新庁舎、ファミリー体育館落成。
	49	1974	南後志衛生施設組合清掃センター完成。岩内・寿都地方消防組合設立、寿都支署を置く。
	50	1975	第1回弁慶まつり開催。
	51	1976	寿都保育園開園。
	52	1977	地籍調査事業始まる。
	53	1978	寿都高校改築。第2保育園開園。
	54	1979	寿都統合中学校完成。道立寿都病院改築。葬斎場完成。
	55	1980	全国優良町として表彰を受ける。漁民研修センター新築。湯別、樽岸小学校改築。第3期総合振興計画樹立。
	56	1981	寿都漁港第6次整備完成。学校給食センター移転改築。
	57	1982	横潤小学校開校100周年。朱太川遺跡発掘調査始まる。
	58	1983	湯別小学校開校100周年。寿都町さけ・ます増殖施設完成。
	59	1984	統計情報事務所寿都主張所閉庁。寿都観測所100周年。農林漁家高齢者センター完成。特別養護老人ホーム「寿都寿海荘」完成。
	62	1987	弁慶銅像及び弁慶岬休憩所完成。

年号	年	西暦	できごと
平成	元	1989	寿都風力発電所落成。
	2	1990	弁慶岬水洗トイレ完成。寿都地方合同庁舎(測候所、法務局、検察庁)完成。簡易水道浄水場完成。
	3	1991	潮路小学校開校。湯別地区に温泉湧出。
	4	1992	寿都町マスコットキャラクター「風太」誕生。
	5	1993	後志南部地区ヒラメ中間育成センター完成。寿都町民プール完成。北海道南西沖地震発生。
	6	1994	磯谷診療所新築。南後志清掃センター可燃物処理施設完成。
	7	1995	寿都町総合文化センター「ウイズコム」完成。寿都温泉「ゆべつのゆ」完成。南後志清掃センター粗大ごみ処理施設完成。
	8	1996	移動通信用鉄塔施設完成。(携帯電話普及)。デイサービスセンター、在宅介護支援センター開設。
	9	1997	農村活性化センターオープン。寿都町公共下水道事業開始。寿都町イメージソング「風のロマン・弁慶岬」発売。
	10	1998	風太公園、多目的広場オープン。埋立処分施設工事着工。船頭さんの店海鮮市場オープン。
	11	1999	寿都温泉ゆべつのゆ、入館者50万人突破。寿都町防災行政無線整備完了。風太公園、風車完成。
	12	2000	寿都町町制施行100周年記念行事開催。
	15	2003	寿の都風力発電所完成。(風車3基)
	17	2005	町立寿都診療所開設。(道立病院から移管)
	19	2007	風太風力発電所完成。(風車5基)
	20	2008	道の駅「みなとま〜れ寿都」オープン。
	20	2008	町立寿都診療所改築。
	22	2010	こどもふれあいセンターオープン。食育センターオープン。
	23	2011	風太風力発電所増設。(風車2基)
	24	2012	地域密着型センター「ふれあ〜寿」オープン。
	27	2015	総合体育館完成。
	28	2016	旧歌棄佐藤家漁場、国の史跡指定。浜直市場完成。子育て支援センター開設。
	29	2017	寿都町防災行政無線デジタル化整備完了。橋本家(旧鯉御殿)を改修。「そば処鯉御殿」オープン。ニセコ町曾我地区に「寿都アンテナショップ神楽」オープン。

## 8 平成30年度寿都町機構図



## 9 官公署一覧

名 称	住 所	電 話
	北海道寿都郡寿都町字～	市外局番 0136
<b>【役場など】</b>		
寿都町役場	渡島町140-1	62-2511
寿都町教育委員会	開進町187-1	62-2100
寿都町総合文化センター	開進町187-1	62-2100
寿都町総合体育館	開進町187-10	62-3391
寿都町民プール	開進町187-10	62-3391
寿都町食育センター	六条町290-1	62-2358
岩内・寿都地方消防組合消防署 寿都支署	渡島町140-1	62-2119
寿都町立寿都診療所	渡島町72-2	62-2411
寿都町立寿都保育園	開進町187-1	62-2637
<b>【公共機関】</b>		
後志総合振興局寿都社会福祉事務出張所	渡島町50	62-2214
寿都警察署	渡島町82	62-2110
湯別警察官駐在所	湯別町下湯別86-2	64-5010
磯谷警察官駐在所	磯谷町能津登56	65-6303
寿都簡易裁判所函館地方裁判所寿都支部	新栄町210	62-2072
<b>【郵便局】</b>		
寿都郵便局	渡島町5	62-2576
歌棄郵便局	歌棄町歌棄270-3	64-5200
磯谷郵便局	磯谷町島古丹19	65-6300
樽岸簡易郵便局	樽岸町樽岸20	62-2774
湯別簡易郵便局	湯別町上湯別53	64-5020
美谷簡易郵便局	歌棄町美谷159-3	64-5504

名 称	住 所	電 話
	北海道寿都郡寿都町字～	市外局番 0136
<b>【学校】</b>		
寿都小学校	矢追町801-1	62-2030
潮路小学校	歌棄町歌棄155	64-5003
寿都中学校	六条町290-1	62-2158
寿都高等学校	新栄町166	62-2144
<b>【団体】</b>		
寿都町漁業協同組合	大磯町20	62-2555
寿都水産加工業協同組合	大磯町196	62-3111
北海道電力(株)寿都営業所	開進町189-7	63-2074
(株)北海道銀行寿都支店	大磯町21	62-2416
北海道信用金庫寿都支店	大磯町17	62-2531
ニセコバス岩内営業所 寿都ターミナル	新栄町87	62-2047
寿都浄恩学園	磯谷町横潤1128	65-6373
寿都しおさい学園	磯谷町横潤1128	65-6373
歌棄慈光園	歌棄町歌棄72	64-5619
歌棄洗心学園	歌棄町歌棄425	64-5312
寿都寿海荘	歌棄町歌棄48-2	64-5167
寿都デイサービスセンター	歌棄町歌棄48-2	64-5688
寿都町社会福祉協議会	新栄町166-8	75-7666
寿都商工会	大磯町81-1	62-2185
寿都観光物産協会	大磯町29-1	75-7201

## 寿 都 町 役 場

北海道寿都郡寿都町字渡島町140番地1

TEL (0136) 62-2511

FAX (0136) 62-3431

寿都町公式ホームページ

URL <http://www.town.suttu.lg.jp>

発行：寿都町役場 企画課 地域調整係